

赤ちゃんの腸内環境を整えて、アトピー性皮膚炎発症予防へ

研究目的

アトピー性皮膚炎のハイリスク新生児を対象として、プレバイオティクスを摂取する場合と、プラセボ（一般に食品として使用されている麦芽糖）を摂取する場合を比較して、プレバイオティクスによるアトピー性皮膚炎の発症を予防する効果があるのかどうかを調べることを目的としています。

対象者

- 同意取得時において日齢6以内の新生児
 - 両親、兄弟の少なくとも一人がアトピー性皮膚炎を罹患したことがある新生児
 - 本試験の参加にあたり、説明を受けた後、十分な理解の上、代諾者より文書同意が得られた新生児
- ☆多胎児や帝王切開の場合ご参加頂けません。その他にも除外基準がありますことをご了承下さい。

方法

- ◆プロバイオティクス群（50名）と麦芽糖群（50名）を比較します。どちらの群になるかはコンピューターが自動的に決定します。
 - ◆新生児期から生後20週の外来まで決められた回数と量のプレバイオティクス又は麦芽糖を摂取していただきます。
 - ◆保湿剤として、提供した保湿剤を1日1回以上使用します。
- また、洗浄料（頭部はベビーヘアシャンプー、顔・体はベビー全身シャンプー）を1日1回使用します。



ミルクークリーム



ヘアシャンプー



全身シャンプー

研究スケジュール

- ★生後2週までに、ご自宅にプレバイオティクス又は麦芽糖を送付させていただきますので毎日摂取して下さい。
 - ★定期Visitとして4、12、20週時に来院していただきます。登録時及び定期Visit時に以下実施します。
 - *皮膚診察 *日誌確認 *残化粧品量の計量 *角質水分量/経皮水分蒸散量の測定 *便検査
- 尚、定期Visit時には計測と謝礼の進呈があり、生後20週時にはこの他血液検査がございます。

※アトピー性皮膚炎を発症した際にはその時点で研究は終了となります。ご希望であれば、当科で診察させていただきます。

【お問合せ先】

国立成育医療研究センター アレルギーセンター研究事務局
E-mail: allergy_research@ncchd.go.jp / TEL: 03-3416-0611

